

バイオテクノロジーで何ができる？～持続可能で豊かな未来へ品種改良で貢献～

農林水産技術会議事務局研究企画課イノベーション戦略室

開催日：令和4年11月28日(月)～12月2日(金)＜5日間＞開催

来場者：345人

内容：バイオテクノロジーを用いた品種改良に対する理解増進を図ることを目的に、遺伝子組換えやゲノム編集技術等に至るまでの品種改良の歴史を紹介することに加え、スマート育種や現在の品種改良に欠かせない遺伝資源の収集等の取組を紹介する展示を実施しました。



従来の交配育種や自然界で起こる突然変異を用いた品種改良等をパネルで解説し、ダイズやアズキの野生種と栽培種(実物)を並べて展示



遺伝子組換え技術をパネルで解説し、遺伝子組換え技術を用いて商品化された青いバラ(実物)、青いコショウラン(実物)等を展示



ゲノム編集技術をパネルで解説し、商品化されたGABAを多く含有するトマト(実物)、研究が進んでいる無花粉スギの雄花(標本)等を展示



遺伝資源の保存・活用を目的としたジーンバンクをパネルで解説し、保存されているイネ等の多様な種子(実物)を展示



従来の品種改良から最新のゲノム編集技術までの様々な品種改良技術を分かりやすく解説した動画を大型モニターにより放映



ゲノム編集技術と遺伝子組換え技術を解説した小冊子や、ゲノム編集技術を利用した品種改良に取り組んでいるスタートアップ企業のチラシ等を配布